

# 放射線先端医学実験棟

## 講堂

セミナーに活用できる講堂や会議室を設置。休憩時間に研究者同士が語り合えるよう、廊下にはテラスのあるラウンジを用意しています。



## 共通実験室

DNAやRNA、タンパク質などの分析が可能。実験室の周囲には個室を完備し、共同研究プロジェクトに利用することができます。



## 放射線施設

放射線の生物影響を調べるために、線量率の異なる5台の放射線照射装置を保有。実験棟1階の「低線量率照射室1、2」では、インキュベーター中に培養細胞を入れて、線源からの距離を変えることで、様々な線量での影響を調べることができます。また、「高線量率照射室(ガンマセル室)」では、高い線量率での細胞や動物に放射線を照射可能です。実験棟2階の「低線量率飼育室1、2」では、低い線量率で動物に放射線を照射することができます。



## 附属被ばく資料 調査解析部資料室

原爆と放射線被災に特化した貴重な文献や資料を所蔵。事前申込により、資料を閲覧することもできます。



5F

4F

3F

2F

1F

## 飼育室

2階と3階で実験に利用するマウスなどを飼育。現在約2,800ケージの飼育が可能です。



## 放射線災害高度対応研修室

緊急被ばく医療の実際を学ぶための施設。災害時を想定し、防護服を着用した治療や、洗浄による除染のトレーニングを行います。

## 最先端設備を備えた充実した環境で、 研究を推進

2021年5月、新設した「放射線先端医学実験棟」が本格稼働。国内外の研究者らとの共同利用・共同研究などのために放射線実験施設、動物実験施設、遺伝子実験施設、放射線災害医療分野の人材育成のための原子力災害トレーニングセンターを設置。放射線医学研究の拠点として、世界の放射線災害・医科学領域の発展に貢献することを目指します。

